

「国際理解教育 私たちにできることからやっぴいこう」

氏名	大方 彩子	学校名	茨城県 つくば市立高山中学校
担当教科等	音楽	対象学年(人数)	8年 A組(29名)
実践年月日もしくは期間(時数)		2022年10月11日～10月29日(3時間)	

【実践概要】

1. 実践する教科・領域:総合的な学習の時間・道徳		
2. 単元(活動)題材名:私たちにできることからやっぴいこう/「六千人の命のビザ」		
3. 授業テーマ(タイトル)と単元目標 授業テーマ:「国際理解教育 私たちにできることからやっぴいこう」 単元目標: <ul style="list-style-type: none"> ・世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立ち、世界の平和と人類の幸福のために貢献しようとする態度を育てる。 ・SDGsについて学び、世界で起きている問題に気付く。 ・話し合い活動を通じ、世界で起きている問題に対して自分なりの意見をもつ。 ・世界で起きている問題に対して、自分自身にできることを考え、実行する。 関連する学習指導要領上の目標: <ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。(総合的な学習の時間指導要領目標より) ・世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。(道徳内容指導要領項目より) 		
4. 単元の評価規準	①知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsについて学び、世界で起きている問題に気付き、身のまわりの事象と関連していることに気付くことができる。 ・杉原千畝が置かれた状況を社会で学んだことと繋げながら把握することができる。
	②思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs達成目標に対する自分の思いや考えを伝えることができる。 ・国際的視野に立ち、自分や日本社会の幸福だけではなく、広く人類の幸福に貢献することが大切であるということを考えることができる。
	③学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・世界で起きている問題に対して、今自分にできることを考え行動しようとしている。 ・違いを受け入れ、差別や偏見をもたずに人類全体の幸福に貢献しようとするすることができる。
5. 題材設定の理由・題材の意義(生徒観、教材観、指導観)	【単元設定の理由】 今日、グローバル化が進展する中で、様々な文化や価値観を背景とする人々と相互に尊重し合いながら生きることや、科学技術の発展や社会・経済の変化の中で、人間の幸福と社会の発展の調和的な実現を図ることが一層重要な課題となっている。私たちは、地球規模の相互依存関係の中で生きており、我が国が国際的な関わりを持つことなく孤立して存在することはできない。 SDGsの意義や目標について知る学習を通して、世界の様々な問題を他人事ではなく、地球に住む一員として捉えさせたい。そして、国籍・人種・民族が違っても国際的視野に立ち、世界の平和と人類の幸福に努めようとする心情を培いたいと考えた。 【単元の意義】 本単元ではSDGsについて知る学習を通して世界の問題を自分事として捉えさせ、国際的な視野に立って考える心情を高めていく。その後、中学校指導要領特別の教科道徳の内容の「世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること」を受けて設定された題材に取り組む。もし自分が	

杉原千畝と同じ立場であったらどうするかを考えさせることで、国際的視野に立ち主体的に物事を考える態度を養うことができると考え、本単元を設定した。

【児童／生徒観】

本学級の生徒は、日本以外の世界の国や文化に興味がある生徒が多い。「育った国や文化が違くと、人間は分かり合えないと思いますか。」という質問をしたところ、ほとんどの生徒が、「思わない」と回答するなど国籍・人種・民族等の違いに壁を感じていない生徒も多い。しかし、これは他の西欧諸国に比べ、日本がこれまで国籍・人種・宗教・民族等の対立による国内不和や紛争・戦争を実際に見聞きする経験が少ないため、壁を感じないとも言える。また、「どのような行動が世界の平和や幸福に役立つ行動だと思いますか」という問いには、「何をしたらよいのかわからない」という生徒が数名見られたが、ほとんどの生徒は「世界の平和や人類の幸福に役立つことを大事だと思い、行動に移したいと思う」と答えている。こうした意識をより深め、国際的視野で物事を捉え、人類の幸福に努めようとする心情を培っていきたい。

【指導観】

総合的な学習の時間で、SDGs の目標達成のために、地球に住む一員として、自分たちにできることは何かを考えることで、世界の問題にも当事者意識をもたせ、その後道徳の学習に入る。


「六千人の命のビザ」は、第二次世界大戦中リトアニア領事代理であった杉原千畝さんの妻幸子さんの手記をもとにしている。当時ナチスドイツから逃れるために多くのユダヤ人がリトアニアの領事館に日本通過のビザを求めて押し寄せてきた。外交官としての立場に悩みながらも、同じ人間として困っている人を助けようとした杉原さんの姿勢は、深い人間愛に基づき、国際的視野に立った行為である。

杉原さんの苦悩と決断に至る心情を考えることを通して国や人種を超えて、世界の中の日本人としてどのように行動すべきか考えを深めることが期待できる教材である。

本主題の指導に当たっては、杉原氏の苦悩に焦点をあて、そのような中でビザを書くという決断を下した心情を考えさせる。その中で、杉原氏の「国境を越えた人類愛」に気付かせたい。また、事前に行ったアンケートの結果を提示して、自分たちの世界に対する意識を確認したうえで話し合いを深めていきたい。更に、ビザを発行する場合と発行しない場合での影響をそれぞれの立場について考えさせる。日本領事館に集まったユダヤ人、杉原さんとその家族、それぞれの立場に、命にも関わる大きな影響があることをしっかり捉えさせたい。その当時の厳しい状況の中でもビザ発行を決断した杉原さんの心情について話し合うことを通して考えを深めさせたい。

6. 単元計画(全3時間)

時	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など
1	「SDGs を知ろう」	SDGs の目標の意義を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> SDGs の 17 の目標の意義を学習者用端末や JICA 国際理解教育実践資料集からの資料を用いて調べる。 どんな問題があり、問題解決につなげるために、自分たちができることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習者用端末 JICA 国際理解教育/開発支援プログラム 国際理解教育実践資料集
2	「SDGs の目標達成のために私たちができることを伝えよう」	SDGs 達成のために自分たちができることを考え、それを伝える。	<ul style="list-style-type: none"> SDGs 達成のために自分たちができることを整理しポスターを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習者用端末 【資料1】ワークシート① JICA 国際理解教育/開発支援プログラム 国際理解教育実践資料集

3 本時	「六千人の命のビザ」	第二次世界大戦中、外務省の命令に背いてまでもビザを発行した杉原千畝さんの生きる姿勢を通して、地球に住む一員として、自分にできることは何かを考え、実践しようという意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にとって大切だと思っているものは何かを考える。【お金・家族・夢・世界平和】 ・ビザを発行する場合としない場合でどんな影響が出るのか考える。 ・ビザを発行すべきか悩む杉原千畝の葛藤を考える。 ・ビザを発行するという決断をした杉原千畝の思いを考える。 ・世界の平和に貢献するために、私たちができることについて話し合う。  <p>【ビザの発行をするかしないか自分の考えを示しに行くところ】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【資料2】ワークシート② ・【資料3】ワークシート③
---------	------------	---	--	--

<p>7. 本時の展開(3時間目)</p> <p>本時のねらい: 第二次世界大戦中、外務省の命令に背いてまでもビザを発行した杉原千畝さんの生きる姿勢を通して、地球に住む一員として、自分にできることは何かを考え、実践しようという意欲を高める。●: 焦点化 □: 視覚化 ◇: 共有化 ※: 人権教育の視点 ◎: 評価 ○: 学習活動</p>			
過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動・指導形態	指導上の留意点(支援)	資料(教材)
導入(5分)	<p>1 本時の学習の方向性をつかむ。</p> <p>○自分にとって大切だと思っているものはなんですか。【お金・家族・夢・世界平和】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">なぜ杉原千畝はビザを発行したのだろう。</div>	<p>□事前に行なったアンケートを集計した結果を示し授業に興味をもって臨めるようにする。</p> <p>◇アンケート結果をみながら、学級の友達の考えを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な状況を説明し、後は自分たちで考えることで、当時の状況に目を向けさせたい。 	【資料2】ワークシート②
展開(40分)	<p>2 資料を読み、ビザを発行する場合と発行しない場合でそれぞれの立場の人にどんな影響が出るのか考える。</p> <p>○ビザを発行する場合としない場合でどんな影響が出るのか考えよう。</p> <p>【ユダヤ人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・する→命が助かり、日本に逃げられる。 ・しない→捕まり、収容所に送られる。 <p>【日本政府(松岡洋右)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・する→ドイツとの関係が悪くなる。三国同盟が締結できなくなる。 ・しない→三国同盟を締結できる <p>【家族(杉原千畝)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・する→身の危険がある。仕事を失う。罰を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合うことによりそれぞれの立場で様々な問題があることに気付かせたい。 ・考えが出ないグループには机間指導をしながら声をかけ支援する。 ※話し合いが進んでいるグループは、当時のユダヤ人への偏見についても考えることができるようにする。 	【資料3】ワークシート③

<p>まとめ (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・しない→安全・ユダヤ人から批判される。 ○ビザを発行すべきか悩む杉原千畝の葛藤を考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ビザを発行した→ユダヤ人の命を救える。 <ul style="list-style-type: none"> 家族が心配。 外交官として命令に背くべきではない。 ・ビザを発行しない→家族・仕事は無事。 <ul style="list-style-type: none"> ユダヤ人を守れない。 自分の立場だけ考えていいのか。 ◎ビザを発行するという決断をした杉原千畝の思いを考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ユダヤ人を救うことが真の国益にかなうはずだ。 ・自分たちの幸福だけではなく、世界全体の幸福のほうが価値がある。 ・何があってもユダヤ人の命を守りたい。 ・自分の信念はまげられない。 ○世界の平和に貢献するために、私たちができることについて話し合おう。 <p>4 本時を振り返る (自分自身の考えを振り返る)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「ビザを発行するかしないか」に焦点を当て杉原さんの葛藤に共感しながらその思いについて考えさせたい。 ・班で意見交換を円滑に行うことができるよう、机間指導を行う。 ◎人類全体の幸福に貢献することの大切さについて考えることができる。(発言、ワークシート、観察) ・ビザを発行すると決めた杉原さんの思いに共感することを通して、世界の幸福を願う杉原さんの思いに気付かせたい。 ・人類愛の視点に立つことが、長い目で見て国益にかなうことに気付かせたい。 <p>・本時をふり返ることで、自分に照らし合わせて今後の生き方について考える機会とする。</p> <p>・授業前の考えと比較させることで、自分の意識の変化に気付かせ、実践への意欲を高めたい。</p>	
---------------------	--	---	--

<p>8. 評価規準に基づく本時の評価方法 ワークシートの記述、グループワークの様子から、国際的視野に立ち、地球に住む一員として人類全体の幸福に貢献することの大切さについて考えることができたか。</p>
<p>9. 学習方法及び外部との連携 全授業を通して主体的に協働的な学びができるよう、SDGs 達成の 17 の目標の中から特に興味をもった項目を自分で選ばせたり、グループワークを多く取り入れた。コロナウイルス感染症予防の観点から、外部との連携を取り入れることは難しかったが、教師国内研修の体験や、自身の青年海外協力隊ボランティアの経験等を伝えた。</p>
<p>10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組 国際理解協力を充実させるために、学活・音楽科等の授業でも、世界の文化、芸術、政治等の調べ学習等を行い、国際的視野で世界の事象について考えられるように努めた。 担当学年職員と教師国内研修で体験したことを共有し、総合的な学習の時間の活動の授業計画及び実践に反映させた。</p>

【自己評価】

<p>11. 苦勞した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒達は、マスコミなどを通して、悲惨な戦争やテロ、理不尽な差別や迫害に苦しんでいる人が世界には大勢いることは知っている。また、そのような状況に心を痛めている生徒もいるが、平和な時代に、物質的にも不自由なく育っただけに、世界の課題を自らの課題として考えることは難しい。「国際的視野に立つこと」を理解させようと、教師側が一方的に思いや・考え・情報を与えず、教え込むことにならないよう、生徒の実態を踏まえたうえで、情報の質と量を見図ることが難しかった。 ・自分に利害関係が及ばないことに関しては、関係ないというスタンスで物事を考えて
------------------	---

	<p>しまう傾向があり、当事者意識をもたせ自分の意見を述べられるようにすること。</p>
12. 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・杉浦千畝さんの行動に共感し、国際的立場に立ち、世界の人々と尊重し合うことについて具体的にイメージできるよう、第2次世界大戦ごろの国際情勢やナチスドイツのユダヤ人迫害について、グループで調べ発表する等の活動を加えることで、より主体的に考え自分の意見をもつことができると考える。
13. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs について調べ学習することで、現実の国際社会には様々な課題があることを知り、地球に住む一員として物事を考えることの大切さに気付くことができた。 ・自分たちが恵まれた環境にあることに気付き、「困っている人を助けたい」と考える生徒が増えた。
14. 学びの軌跡(児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・今までは世界平和のことを考えることは少なかったけれど、自分と家族の命を危険にさらしてまでも自分にできることを一生懸命にやった杉原さんのことを知って、これからは世界の平和のために他の国の人たちと仲良くして協力していくようにする。 ・戦争をしないことが重要だと感じた。
15. 授業者による自由記述	<p>今回研修で専門教科や校種の違う先生方とともに、協働学習やフィールドワーク等に参加し意見交換することで、視野が広がった。また今後も継続して国際理解教育・開発教育・SDGs・多文化共生に関する知識を増やし、授業づくりに活かしていくことが重要であると感じた。</p> <p>貴重な機会を与えてくださった、今回の研修に関わった皆様に感謝したい。</p>

参考資料:

- ・『国際理解教育実践事例集—世界を知ろう！考えよう！』JICA 地球ひろば
- ・『「生きる力」を育む国際理解教育実践資料集』JICA 地球ひろば
- ・『新しい道徳2』東京書籍
- ・『新しい道徳2研究編』東京書籍

添付資料:【資料1】ワークシート①

つくばスタイル科 **SDGs**

ポスターのデザインを考えよう

8年 組 番 氏名 _____

【最終目標】 ポスターを作成し、SDGs 達成のためにできることを伝える。

◆扱う問題（グループの大きなテーマ）

--

◆なぜその問題に興味をもったのか

◆その問題を解決するためにあなたやまわりの人ができることは？すべきことは？

◆ポスターで一番伝えたいことは？

ポスター作りで工夫したいこと（文言・色・構図など）

例)「誰一人取り残さない」など

--

年 組 番 氏名

1 海外の文化や歴史に興味はありますか。

はい いいえ

2 育った国や文化が違くと、人間は分かり合えないと思いますか。

そう思う 思わない

3 どのような行動が「世界の平和や幸福のために役立つ」行動だと思いますか。

4 世界の平和や人類の幸福に役立つことを大事だと思い、行動に移したいと思いますか。

そう思う 思わない

5 次の事柄であなたにとって大切なものは何ですか、優先順位を番号をつけてください。

世界平和
お金
家族
夢
友達

ご協力ありがとうございました。

【資料3】ワークシート③

道徳プリント

月 日

年 組 番 名前

めあて

1 【ビザを発行する】

【ビザを発行しない】

	ユダヤ人	
	日本政府 (松岡洋右)	
	家族 (杉原千畝)	



2

あなたが杉浦千畝だったら。。。。。

ビザを (発行する / 発行しない)

なぜなら